

## 第2部 校内記録

### I. 講演会

## イブニングセミナー（教職員対象）

「製品開発と人材育成について」

講演者： 日本ノズル株式会社 技術開発部長 取締役 大谷靖彦様

実施日時： 7月6日（水） 午後4時半～

場所： 専攻科棟2F 大講義室

大谷靖彦様は1965年に大阪大学基礎工学部をご卒業、(株)神戸製鋼所に入社されて以来、開発や企業経営の最前線にて活躍されてきました。まず入社直後から、電線被覆装置、回転成形機、スクリーンプンなどのプラスチック機械の設計開発に携わってこられております。またこれらの経験を生かして機械技術部門や本社技術開発本部にて技術開発の企画管理をされ、さらにこの延長として、その当時世界的な自動車安全の機運の盛り上がりの中、大きな市場が見込まれていた自動車のエアバック開発のために社内ベンチャーとして起業されて、センサーテクノロジー(株)を立ち上げ、新製品の開発を指揮されました。その後、これまた世界的に激しい開発競争が始まっていた超伝導技術による、医療用機器MRI等に用いる強力磁石の開発のためにジャパンスーパーコンダクターテクノロジー(株)を起こされ、社長として陣頭指揮に当たられ、当時新聞等でも取り上げられる数々の新製品を世に送り出し、文字通り世界相手に活躍されてきておられます。またこれら開発型ベンチャー企業の経営から身を引かれた後も、中小企業支援のために、技術開発や経営のアドバイザーを務めてこられました。また最近においては本校の学生の就職にあたって多大なご助言やご助力をいただいております。

ご講演では、日本ノズル(株)の紹介や、大谷様のこれらやってこられた内容や技術開発や会社経営を通して経験され、感じておられる技術を含めた社会情勢の変化変遷について、またこれらの変化を受けて、広い意味で日本や日本人はどのように対応すればよいのか、また次世代の人材を育成していくためにはどういったことを重点に考えて取り組み、教育していくべきか、といった観点からもお話しいただく。

なお今回のイブニングセミナーは、神戸市の人材育成事業（神戸市産業振興局工業課が担当窓口）の一環として神戸市機械金属工業会の全面的な協力のもとに実施されるものです。

産業界からの学生育成についての生の声をお聞かせいただける

講演会です。よろしくご参集願います！

（ 地域協働研究センター 小林滋 ）

## 神戸信金との連携セミナー講演会

日時：10月26日（水）2時半～講演会

場所：大講義室

題目： 見える化でわかるムダつぶしコストダウンの実際

学術講演会

日時：10月26日（水）4時～

深見先生： 近現代日本の地域社会と農業団体

黒住先生： 適応学習制御を用いた人の生活支援システムの開発

## イブニングセミナーⅡ（兼FD学習会）

実施日時： 平成24年1月18日（水）16:00～17:00

会場： 神戸高専本部棟ホール

講演1 題目：外部資金概説

講師：NIRO兵庫ものづくり支援センター研究コーディネーター部長 山口寿一様

講演2 題目：知財教育【高専における特許の必要性とメリット】

講師：NIRO技術アドバイザー（前TLOひょうご所長）大南亮一様

講演1では、科研費以外の外部資金獲得の方法、講演2では、知財活用と産学連携について、神戸高専へのメリットや具体的な実施例をあげた講演をいただいた。講演終了後の質疑応答では、活発な意見交換が行われた。

（文責 地域協働センター 朝倉義裕）



図1 NIRO 山口氏による講演



図2 NIRO 大南氏による講演

退  
官  
記  
念

## 講演会

### 1. はじめに

平成24年3月末をもって、一般科（英語科）西山正秋教授が定年退官されるにあたり、長年の本校への貢献に敬意を表して、退官記念講演会が催されました。

### 2. 概要

日時： 2012年2月23日（木）13:05～

場所： 本校本部棟2階ホール

講師： 一般科（英語科）西山正秋 教授

演題： 「美しい日本の英語」

概要： 川端康成・大江健三郎などの英文表現を対比しつつ、日本の文化や伝統を伝える「コミュニケーションのツール」としての英語の重要性を説かれました。

### 3. 講演会の様子

当日は教職員や西山教授が担任された都市工学科5年の学生諸君が多数来場しました。

示唆に富んだ含蓄ある講演内容に、学生諸君も興味深げに聞き入っていました。

#### 4. おわりに

講演会終了後、30年以上にわたり本校の英語教育に尽力された西山教授への感謝の気持ちを込めて、都市工学科5年の岡那さんから花束が贈呈され、万雷の拍手を浴びました。

(文責：一般科委員 高橋秀実)



講演の様子

花束贈呈

## 学科代表卒業記念講演会

### 1.はじめに

平成24年3月15日(木) 11:00より本部棟2Fホールにおいて平成23年度学科代表卒業記念講演会が催されました。4年学生全員や教職員など約300名にもものぼる聴講者で熱気に包まれました。

### 2.スケジュール

- 1) 地域協働研究センター長(小林教授)の挨拶
- 2) 各科代表発表
- 3) 研究担当副校長(橋本教授)の講評
- 4) 校長表彰・記念品授与

### 3.各科代表講演者及び演題

凝縮された時間帯を厳守して、各科より選抜された卒業生代表によって、以下のように、各々7分の研究発表と2分の後輩へのアドバイスがなされました。

11:00~11:09 サブミリサイズクリーブ試験機内流れの可視化とCFDによる評価

M5D 小林正樹 (指導教官:鈴木隆起)

11:09~11:18 チェビシェフリンクを用いた二足歩行機構の開発

M5C 宮川大輝 (指導教官:石崎繁利)

11:18~11:27 水中マイクロバブルプラズマの応用

E5 山田廉太郎 (指導教官:赤松浩)

11:27~11:36 プログラミング入門環境の開発

D5 茨木 隆彰 (指導教官:若林 茂)

11:36~11:45 Bisphenol A 誘導体からなるフェノール樹脂の合成

及び高分子複合体への応用

C5 安東陸 C 福田仁歩 ( 指導教官：根本忠将 )

11:45~11:54 はり中央をせん断パネルダンパーに利用した鋼門形ラーメンの  
地震応答解析

S5 辻上和輝 ( 指導教官：酒造敏廣 )

#### 4. 総括

5 学年の卒業研究は、昼夜・休日を問わず行われた研究成果の集大成であり、研究内容の専門性・自主性・計画性が要求されます。学科代表卒業記念講演会は、その卒業論文発表会で最も優れた発表を行った学生が各科の代表として発表する非常に名誉ある講演会です。

「今年度の学科代表卒業研究発表も、他大学や大学院生の研究に決して劣らぬ優れたものと誇れる」と、研究担当副校長も講評で絶賛されました。また多くの再評価科目を乗り切った体験談など、後輩への就職・進路アドバイスもユーモアにあふれ迫力ある有意義なものでした。4 学生諸君は諸先輩の研究レベルに触発されて、来年はわれこそが学科代表発表の舞台に立てるよう、日々研究に励んでくれるものと、強い手ごたえを感じました。

(文責： 一般科委員 高橋秀実)



機械工学科代表の発表 1

機械工学科代表の発表 2

電気工学科代表の発表



電子工学科代表の発表

応用化学科代表の発表

都市工学科代表の発表



橋本研究担当副校長による講評

# 神戸市機械金属工業会向け学校見学会

神戸市機械金属工業会の神戸高専見学会（会員企業が20名程度参加予定）

3月15日（木） 1時30分～

説明会場： 第一会議室

伊藤校長挨拶

橋本副校長の学校全体説明

各科設備見学（各科を徒歩で巡回見学）→ロボット（NHKロボコン）見学